

＜自己評価＞ 及び ＜公開保育＞

| 所属 [学校名、機関名、法人・園名等] | 園長名 | 作成日 |
|-------------------------|---|-----------|
| 社会福祉法人照治福祉会 清水認定こども園 | 前田 敦子 | 令和4年11月1日 |
| 評価の記録 | | |
| 良い点 | <p>評価科目全般において、高得点でバランスも良い。特に子どもに対する支援は、その子どもの年齢、特性に応じて行われ、職員のスキルアップ、チームワークの向上に取り組んでいる。子どもたちのことを第一に考えている職員の思いを感じた。参加したことでより一層そう感じ、子どもの主体性だけでなく、職員の教育・保育に対する主体性が素晴らしく思った。また、職員間の連携が取れており、子どもの考え・思いを聞き出す点、それが子どもたちにも伝割ってるように思った。全体での聞く姿勢や子ども同士の声掛け、支え合い、一日の保育を見ただけでもたくさんの学びを感じた。子どもたちはたくさんの人たちに守られて教育保育を受けているのだと改めて感じ嬉しく思った。</p> | |
| 改善点 | <p>現段階での改善点はないが、評価点数が下がらないように努めてほしい。</p> | |
| 更に期待する点 | <p>現状に満足することなく、よりハイレベルな評価点数を目指して頑張ってもらいたい。コロナ禍の中で制限されることが多いが、地域の方とのコミュニケーション次第で広がることもたくさんあるのではと感じた。子どもたちがそっと友だちに寄り添っている様子を見ることで、職員の日頃の接し方などをよく見ているんだなと改めて感じる場面だった。このような姿を見る機会が他の保護者にももっとあると、保護者自身が学べることや共感できることが増えるように感じ、より保育とつながっていくのではと思う。</p> | |
| 評価を受けて | <p>近隣小学校の校長や児童施設の施設長、法人の保育教諭、地域関係者など様々な方々から、園で大切にしている対話の時間を見ていただく事が出来た。子どもたちの活発な発言を受けて、子どもたちの思いに寄り添って話を傾聴する職員の姿から、子どもたち自身が自分の意見を安心して言える空間を感じてもらえることができた。また、コロナ禍で地域とのつながりがなかなか難しくなっている現状を改善したく、今後は少しでも交流が持てるよう、園の行事へのお誘いや地域のお祭りへの参加、敬老会などへの訪問など積極的に行っていきたい。地域に根差した園として様々な交流を持つことで、当園の教育保育の方針や取り組みについて更に理解を深めていくように努めていきたい。</p> | |